

「2016 年度ふたかみ福祉会決算」について

今年度は「ハピバール」の建設を滞りなく終えることが大きな課題でしたが無事完了し、4月より生活介護事業所「ハピバール」（喫茶・店舗を含む）として開所しています。

総工費約 15,440 万円のうち 6,000 万円を福祉医療機構より借入を行い、残りの約 9,440 万円を積立金取崩等、自己資金で賄いました。そのうち2年間で多くの皆様から「施設整備寄付金」4,272,014 円をいただき、基本金に繰り入れをしています。

法人全体では事業収入が前年比▲768 万と減収になっており、はびきの園の就労移行事業の定員割れ、生活介護の利用減が大きな原因となっています。又、短期入所一ほまれの里の平均稼働率が 60%台で推移しているのも影響しています。しかし事務費、人件費（71.8%）が前年を下回ったため当期活動増減差額は 8,018,702 円となり前年比▲55 万となっています。

就労支援事業では売上が減少し経費が増加した結果、今年もマイナスを克服できず、就労支援事業収支は▲142 万円となり、マイナスが増える事態となっています。これ以上のマイナス増加にならないよう根本的な検討が必要となっています。

今後は法人として、「当期活動収支差額」がマイナスの事業をカバーできる余力のある事業はなくなると考えられるため、各事業で「当期活動収支差額」をプラスに維持できるような運営をしていく必要があります。

ハピバールは利用者確保と喫茶の運営の安定が大きな課題であり、はびきの園、ほまれの里も利用者確保とともに、利用者の皆様が楽しく通って過ごし、働く喜びを感じられるよう日々の実践を高めていく必要があります。

（法人事務局 井川）